事例 04

釧路市

～つながる まち・ひと・みらい ひがし北海道の拠点都市・釧路～

黄金に輝く夕日と幣舞橋

町の素顔

人　口　166,089人（R2.9.30）
高齢化率　34.1%（R2.9.30）

北海道東部の太平洋岸に面した、2つの国立公園を有する水産都市。夏は冷涼な気候で、道外からの長期滞在者も多い。合併により平成17年に新生「釧路市」としてスタート。

担当部署　釧路市福祉部介護高齢課

事例に関するワンポイント

- 要介護認定者の割合：21.5%（令和元年度末）
- 要介護認定者数等に占める認知症高齢者の割合：約60%
- 介護予防の観点からアクティブシニアを重要なものと位置付け
- 地域全体で高齢者を支えるための「釧路市高齢者地域安心ネットワーク」を推進

道東の中核都市釧路市では、介護予防を目的とした「おたっしゃサービス」という名称の「通所型サービスB」が平成29年6月から展開されており、令和2年9月末時点で20団体32会場が登録しています。このサービス導入の背景は、高齢化率の上昇と、担い手の減少により介護サービスの専門職の増加が期待できないことから、多様な主体の多様なサービスを利用できるようにし、介護予防に取組むことのできる仕組みをつくっていこうという考えからで、そのサービスの概要は以下のとおりです。

通所型サービスB「おたっしゃサービス」概要

参加対象者	釧路市在住の65歳以上で、要支援認定者または基本チェックリスト該当者
参加費用	100円／回（食費・教材費等は実費負担）
サービス内容	場所：介護事業所の地域交流スペース、医療機関や店舗の空きスペース、地区会館、老人福祉センター等 内容：「運動機能向上の取組み（軽体操・ストレッチ等）」、「認知症予防の取組（脳活性化トレーニング、ゲーム等）」、「参加者同士の交流」 時間：1回あたり1時間以上（週1回:月4回程度）

また、補助金の交付申請については、次のとおりとなっています。

補助金の交付申請

基本補助	参加対象者1人1回あたり	200円
送迎費補助	参加対象者の送迎を実施する場合（1人1往復あたり）（往復タクシー利用時は利用者本人に補助）	300円
会場費	事業所以外の有料の会場で実施する団体の場合	1日4時間を上限として会場費の全額
	運営主体が保有する事業所や店舗の空きスペースなどの会場を利用する団体の場合の使用料（光熱水費等）	500円
	賃料が発生しない会場の場合	補助なし
専門職加算	マシンなどを利用して専門的な指導を行う場合、安全面に配慮し、必要な場合にはリハビリ専門職または看護職を配置した場合1回あたり	500円

サービス開始から2年半で、実施会場数は約1.7倍、参加者数は約3.3倍に伸びていますが、今後も全小学校区へのサービスの設置を目指すとともに、校区内において徒歩で通えない方に対する通所方法も検討しています。

ラダー・クラブ

会　　長　坂口 とし子　会 員 数　19名
スタッフ数　5名（スタッフ兼役員・70代中心）

「ふまねっと」をする前の準備体操

同クラブは元々「ふまねっと」を行うサークルで、市から「おたっしゃサービス」への参加打診を受け、同サービスの実施団体になりました。昨年、前会長の退任を機に、サポーターの資格を持つ坂口さんが会長に就任。同サービスは約15人／回が月4回利用し、その多くは自分で車を運転して参加しています。コロナ禍以前は、第4週に調理とお食事もしていました。参加者の方々に「来るのが楽しみ」と言ってもらえる場所づくりを、これからも引き続き行っていくこととしています。

（特活）まなざしの和

理 事 長　島貫 こずえ　会 員 数　約20名
スタッフ数　10名　設　　立　平成30年3月

ソーシャルディスタンスをとっての歓談

当初から地域食堂を開こうと考えていた島貫さんらは、地域食堂の視察を通じて「出張地域食堂」を開こうと法人を設立。市から「おたっしゃサービス」への参加依頼を受け、同サービスの実施団体となりました。同サービスの利用者は65～90歳で「まだまだ元気な人が多く」（島貫さん）、「私たちにも何かできない？」と言ってスタッフになる方もいて、厨房担当者の一人は90歳の女性です。利用者から「来るところがあって良かった」という声も多く、将来は多世代交流の場にするなどの夢も膨らんでいます。

さわやか健康サロン

会　　長　高辻 邦子　会 員 数　55名
サポーター　8名　設　　立　平成19年度

みんなで楽しく体操

同サロンは、高辻さんが「自分の足で通年通える活動場所があれば」との思いで立ち上げ、今では延べ1.7万人以上が参加。サポーターは高辻さんの思いに賛同した8名で、「サロンがボケ防止に」との声も。「おたっしゃサービス」を開始してからは会場費負担が減り、会費を下げつつも活動内容を拡げています。サロンでは体操等を行い「参加してくれる人がいることがうれしくて、やりがいを感じます」と高辻さん。会員は増加傾向にあるもののサポーターの高齢化が課題となっています。

おたっしゃサービス実施団体　（特活）グルスの杜あかん／（特活）和（なごみ）／（特活）桜が丘ひぶなクラブ／ラダー・クラブ／オリーブの会／（株）N3ライフ／（医）資生会 クリニック養生邑／（医）道東勤労者医療協会／わたすげ体操教室／（社福）釧路創生会／おたっしゃサロン共和／ほっとサロンわたすげ／花サークル すずらん／（特活）まなざしの和／（特活）縁 ゆめくらぶ／おたっしゃサービス 糸の会／ふまねっとぬさまい／さわやか健康サロン／（特活）わたぼうしの家／ふまねっと946　（順不同）